



1983年9月4日。サンダーズの前身である専売広島OBで、ミyunヘン五輪金メダリストの猫田勝敏さんが逝去された。今年の6月には日本人で9人目となる、

久原 大輝

JTサンターズ広島



国際バレーボール殿堂入りを果たした。

今月4日、猫田さんの命日となるこの日に、チームでお墓参りをさせていただいた。猫田さんが生前果たすことのできなかつた「日本一」の達成を、墓前で誓い、手を合わせた。

「日本一」を果たすための鍵を握るのは、猫田さんと同じセッタードラゴン。今季は前田一誠選手が加入し、金子聖輝選手、阿部大樹選手を含む3人が激しいスタメン争いを繰り広げている。8月の大学生との練習試合では、3選手がそれぞれの持ち味を發揮し、ゲームをうまく回していた。

経験豊富で堅実さが売りの前田選手。高さと器用さでゲームを支配する金子選手。今夏磨きをかけたサーブと強気なトス回しが武器の阿部選手。Vリーグ開幕まで50日を切り、チームの完成度が日を追うごとに上がっていく中、開幕戦へ向けてのセッター争いから、目が離せない。

墓前に手を合わせる阿部大樹選手
（4日）

JT広島マネジャー